

SDGsなまちづくりに挑戦していきます！

平成4(1992)年5月、ドイツのハイデルベルク市において「平和と環境に対する共通の責任」を理念とする友好都市協定が締結されて30年が経ちました。以来、多くの分野で交流を行い、共通の課題解決のために連携してきました。本号では、これまでの取り組みや30周年記念イベントを紹介。本市はこれからも人や環境、地域に配慮したフェアトレードを推進していきます。

熊本市の取り組み

出前講座を開催中

フェアトレードについて聞きたい・知りたいという方に対して、本市職員が学校、福祉施設などへ出向いてフェアトレードの概要説明や本市の取り組みについて紹介する出前講座を行っています。



※詳細は本市ホームページ

「フェアトレードシティくまもと」を検索



「フェアトレードシティくまもと2021宣言」をしました



フェアトレードシティ認定10周年を記念し、「フェアトレード国際フォーラム2021 inくまもと」を2021年に開催。本市は、推進団体とともに「世界に認められるフェアトレード先進都市」をめざすことを宣言しました。

ハイデルベルク市の魅力

「フェアトレード以外は手に入らない品物もあるほど生活に浸透しています」

環境保護先進国として知られるドイツは、世界が抱えるさまざまな問題にも真摯に向き合っているため、市民にとってフェアトレード商品はとても身近な存在だそう。各町に専門店があるのはもちろん、スーパーにも当たり前のように置いてあり、「『わざわざ選んで買う』というより、『たまたま買ったものがそうだった』というくらい日常に浸透しています」とアンナさん。しかも「コーヒーやチョコレート、バナナなど、ジャンルによってはフェアトレード商品以外を手にするのが難しいものもある」といいますから、本市も目標にしたいところです。

また、中世の街並みが残るハイデルベルク市は、今ある宝を未来に残すためにSDGsに力を入れていることでも有名。使い捨てプラスチックの使用が法律で規制されているため、フェアトレードコットンを使ったエコバッグが活躍しています。



教えてくれたのは
熊本市国際交流員
アンナ ザイツさん

マンハイム市で生まれ、お隣のハイデルベルク市にある大学で学ぶ。2018年夏に熊本に移住し、国際交流員として国際理解のための交流活動を行う。



環境にやさしいリユース食器やフェアトレード商品

ハイデルベルク市のロゴが入ったエコバッグ



ハイデルベルクの景色が描かれた木のプレートは、食器がわりに使われるそう

「友好都市30周年記念事業」

フェアトレードシティくまもとマルシェ開催

■日時: 2月11日(祝)午前11時～午後4時 ■場所: 花畑広場

フェアトレード商品をはじめ、地産地消、フードロス関連商品、障がいのある方々が作った商品、ドイツの食や文化を紹介するさまざまなブースが出店します。また、フェアトレードチョコレートの味当てクイズや、SDGs缶バッジづくりなどワークショップも開催しますのでぜひお立ち寄りください。

さらに、ハイデルベルク市のフェアトレードグッズをプレゼントする「#フェアトレードシティくまもと#Instagramキャンペーン」を2月末まで実施します。



詳しくは
こちらから

子どもたちも気軽に参加できるワークショップも開催します。体験すると意識が変わりますよ！

なかむら あつし
中村 篤志さん
(大学3年生)

フェアトレード
推進委員会の
学生メンバーの皆さん



フェアトレード商品のほとんどはオーガニックなので、人にも地球にも優しいんです。しかも食品、日用品、おもちゃなど幅広い品ぞろえ♪

いずみ さき
泉 沙希さん
(高校2年生)



フェアトレードは、熊本市と世界をつなげる絆です。ぜひフェアトレード商品を手に取って楽しんでください。

ひぐち ようすけ
樋口 陽介さん
(大学4年生)



(国際課 ☎096-328-2070)



作: 桜田幸子